

## 記念日のいわれ No.10

11月20日…黒人の日 ( Dia Nacional da Consciência Negra )

2003年1月9日、ブラジル国の法律 No.10,639 が発令され、ブラジルの学校の年間行事予定表に「黒人の日」(黒人の業績を祝う日)が設定されました。この法律は、学校で教師がアフリカ系ブラジル人の歴史と文化について児童・生徒に教えることを義務付けました。これにより学校は、次のテーマを教育カリキュラムに位置づけなければならなくなったのです。それらは、アフリカの歴史、アフリカ人・ブラジル黒人の苦闘、ブラジルの国づくりに影響した黒人とその黒人文化です。

また、2004年1月8日には、サンパウロ市の法律 No.13,707 が発令され、サンパウロ市の学校でも年間行事予定表に「黒人の日」を位置づけ、祝日となりました。

この法律を設置することによって、ブラジル政府は、ブラジル国の長い歴史において黒人が政治・経済・社会の分野に貢献したことを国民に思い出させることを期待しています。

しかし、この日付(11月20日)は偶然に決まったわけではありません。Quilombo dos Palmares (ブラジル北部のヤシの木が群生した地域で、密林の山奥に逃亡した黒人奴隷の集落のことを「キロンボ」と呼んだ。)に住む黒人奴隷解放運動のリーダーZumbi (ズンビ)が、1695年11月20日、アラゴアス州の Serra da Barriga で、ポルトガル軍の攻撃によって死亡しました。その後、Quilombo dos Palmares も破壊されました。そこで、この日に「黒人の日」を制定するということは、今まで黒人がブラジル国の政治・経済・社会に大きく貢献したということに敬意を表するものであり、この歴史的な人物 Zumbi (ズンビ)を国民の記憶にとどめることでもあります。1888年に施行された奴隷解放のために闘ったその業績も、忘れないためです。

しかしながら、ブラジルの統計は、白人、黒人、混血の社会的地位には、未だ大きな較差があることを示しています。

